インド通信

みやぎ海外絆大使
JICA 海外協力隊
澤村啓之

皆さん、明けましておめでとうございます。
今年も月１回のペースでインド通信をお届けする予定ですのでよろしくお願いします。

さて、インド通信第 9 号の今回はインドの生活がいかにヒンズー教と深くかかわっているかについてのお話です。
新年なので神様にまつわる話が良いかと。。。。。

勤務する学校の受付フロアにはヒンズー教の神様の一つであるガネーシャ神が祀られています。皆さんもご存じのゾウの鼻を持った神様です。
ガネーシャは学問の神様としても知られていて、そんなこともあって学校にはガネーシャが祀られているのだと思います。

先日はスタッフの一人がいきなりオフィスに来て、今日はラーマの神様をお祀りする特別の日だから一緒に拝もうとガネーシャの前に連れていかれました。
すでにみんな集まっていて、私もおでこに赤いティッカをつけてお参りしました。

特別な事業の式典などのある日は式典の前にガネーシャに式典と事業の成功を祈念してスタッフ皆でガネーシャにお祈りします。
また、特に何か新しいことを始める節目にはココナッツを割って神様にお供えするのがヒンズー教の儀式だそうです。
ココナッツはインドでは神様に捧げる縁起のいいフルーツで、この儀式をココナッツ・ブレーキングというのだそうです。
新年の始まり、ココナッツの写真を見て良い年になることを皆で祈りましょう！！

おでこにティッカをつけて

ガネーシャ神

ココナッツ・ブレーキング